

日本での生活

進学課程E組 齊 賛

日本に来て、もう四ヶ月になります。これは私の初めての外国での生活なので、うれしい反面、不安もあります。でも、日本に留学した以上、なにも成功しないで帰国するなんて、あり得ません！

私は今年の三月二十日に、東京に着きました。新型コロナのせいで、やっと来られた日本の最初の夜はネットカフェで過ごしました。日本のネットカフェは、中国とは異なりますが、ほとんどの場所は1人1室で、部屋は小さいですが、非常に洗練されています。驚いたことに、ネットカフェにはかなりたくさん漫画があり、コーヒーやジュースも自由に取ることができます。漫画を読みつつ、「漫画は本当に日本の名刺だなあ」と思いました。

翌日、一緒に日本へ来た友達と、新幹線で大阪に向いました。二時間半ぐらいかかってやっと大阪に着き、予約した民宿に泊まりました。

した。銀行口座開設、携帯電話の契約、賃貸住宅の契約、区役所での住所登録など、日本で生活する上で必要な様々なことをしなければならず、慌ただしい日を過ごしました。そして、いよいよ学校が始まりました。日本への留学を決めて二年も待って、ついに教室で授業を受けることができました。そして、生活は徐々に軌道に乗ってきました。

時間が経つにつれて、日本の生活にもだんだん慣れてきました。日本語も初めて来た時よりうまくなりました。同時に、大学院入試は私が思うほど単純ではないことがわかったし、進学のために一生懸命勉強せねばならぬことも知りました。しかし、大変だからといってあきらめるつもりはありません。留学は私の決定ですが、それを後押しして応援してくれた天国の母のためにも、私は強い気持ちで頑張るつもりです。

しかし、いつも勉強ばかりしていると、せっかく日本にいるにもかかわらず、世間知ら

ずになるかもしれません。それで、休みの日に、私は京都をはじめ大阪周辺のいろいろな所を旅行するようにしています。幸運なことに、関西には見所がたくさんあります。最初に行、た京都では八坂神社と清水寺に行きました。平日にもかかわらず、清水寺の参道には大勢の人がおり、参拝した所もこんでいました。参道の両側には様々な商品を売っている店があり、人々は楽しげに話していて、とてもにぎやかでした。先日、もう一度京都に行、て日本の三大祭の一つ「祇園祭」に参加しました。様々な山鉾が巡行し、大勢の人が道路の両側に集まって写真を撮ったり、山鉾に従って歩いたりしていました。山鉾を引張るたびに、通りの人々は大きな拍手を送り、すごい暑さにもかかわらず、人々の情熱はとどまるどころを知らませんでした。京都は現代にありながら伝統が共存する不思議な町です。

京都のほかに、奈良にも行きました。奈良

では初めて鹿を見て、鹿の手をなでて、たくさん
さんの写真を撮りました。その後、春日大社
に行きました。晴れた日で、若草山の草は鮮
やかに広がり、若草山を登れば登るほど美し
い景色が目の前に現れ、奈良の風景がいつそ
う遠くまで見えました。鹿たちは満腹になっ
た後、地面に横になり、のんびりした静けさ
を楽しんでいるようでした。

大阪では、京都や奈良と違って、朝から急
いで走っている人や疾走している車など、大
阪人の忙しさを感じる事ができます。仕事
の後に、多くの会社員は居酒屋に行っ
てご飯を食べたりビールを飲んだりして、にぎやかに
話します。母親は子供を連れて帰り道を歩
きつつ、一日の苦勞が消えていくかのように
笑いながら話しています。鶴橋には人が集ま
って陽気に歌い、日本橋にはアニメの本やグ
ッズを熱心に探す人がいます。それらはすべ
ての人間の花火だと思います。大阪は決して
大きくありませんが、人生の百態があり、人

間の生活が色濃く映る人間味溢れる町です。

私の日本での生活は始まったばかりですが、日本の面白いことをもっと発見していきたいと思っています。苦しい思いをすることもあ
るでしょう。しかし、それを含めて日本での生活です。私は、遠くで見守ってくれている母に胸に張って報告できるように、日本での生活を充実したものにしていきたいです。